

に校内 LAN から Web ページとして閲覧可能となっている。生徒は校内に2箇所設置された科学情報端末やコンピュータ教室、図書室などで閲覧でき、下校時やクラブ活動前に利用している。

3年の選択科目地学II(気象)の履修者は、科学情報端末を利用してMM5の予報結果や気象協会から提供を受けている天気図や衛星画像などのさまざまな気象情報から予報解説文を当番制で作成し、その科学情報端末に公開している(第7図参照)。

4. おわりに

現在、局地気象予報システムによる予報結果や気象

協会が配信する各種気象予測資料を用いた天気予報実習や局地気象予報システムの予測精度向上のために、局地気象予報システムの予報精度の検証や精度向上のための統計的関係式の作成等の教材開発や実践を進めている。

参 考 文 献

- Grell, G. A., J. Dudhia and D. R. Stauffer, 1995: A Description of the Fifth-Generation Penn State/NCAR Mesoscale Model (MM5), NCAR/TN-398+STR, NCAR TECHNICAL NOTE, 122pp.



科学技術分野の文部科学大臣表彰(科学技術賞および若手科学者賞) 受賞候補者の推薦募集

1. 目的

この表彰は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を取めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする。

2. 表彰対象

(1) 科学技術賞(年140件/年)

1) 開発部門(年30件/年)

我が国の社会経済、国民生活の発展向上等に寄与する画期的な研究開発若しくは発明であって、現に利活用されているものを行った個人若しくはグループ又はこれらの者を育成した個人

2) 研究部門(年40件/年)

我が国の科学技術の発展等に寄与する可能性の高い独創的な研究又は発明を行った個人又はグループ

3) 科学技術振興部門(年10件/年)

大学等の研究開発成果を活用したベンチャー創出、地域における産学官連携、研究開発の社会的必要性に関する研究等の分野において、科学技術の振興に寄与する活動を行い、顕著な功

績があったと認められる個人又はグループ

4) 技術部門(年40件/年)

中小企業、地場産業等において、地域経済の発展に寄与する優れた技術を開発した個人若しくはグループ又はこれらの者を育成した個人

5) 理解増進部門(年20件/年)

青少年をはじめ広く国民の科学技術に関する関心及び理解の増進等に寄与し、又は地域において科学技術に関する知識の普及啓蒙等に寄与する活動を行った個人又はグループ

(2) 若手科学者賞(年100件/年)

萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績を挙げた若手研究者個人

3. 推薦に必要な書類

候補調査書、付属資料各種(論文一覧等)、履歴書、戸籍抄本

4. 提出期限: 2005年7月22日(金)

担当: 文部科学省研究振興局

〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1

Tel: 03-5253-4111 内線4071, 4233

詳細は気象学会事務局にお問い合わせ下さい。